「入院患者における椅子座位と 60 度ギャッチアップ位で測定した最大咳嗽流量の個人内差の推定」

へのご協力のお願い

このたび,「入院患者における椅子座位と 60 度ギャッチアップ位で測定した最大咳嗽流量の個人内差の推定」という当院の臨床研究にご協力の程どうぞよろしくお願い致します.

高齢者や脳卒中,呼吸器疾患などをお持ちの患者様において,誤嚥性肺炎の予防は極めて重要な課題です.誤嚥を防ぎ,気道を守るためには「咳嗽(せき)」の力が重要であり,その能力を評価する指標として「最大咳嗽流量(CPF)」が広く用いられています.

CPF は測定時の姿勢(体位)の影響を受けることが知られていますが,特に高齢の入院患者では椅子座位の保持が困難な場合も多く,60 度ギャッチアップ位(ベッドを 60 度ほど起こした姿勢)で測定される場面も少なくありません.しかし,椅子座位と 60 度ギャッチアップ位(ベッドを 60 度ほど起こした姿勢)という違いが CPF の測定値にどの程度の差をもたらすかは,十分に明らかになっていません.そこで本研究では,通常診療において記録された過去の測定データを用いて,この 2 つの姿勢条件での CPF 値の個人内差を調査します.

1. 対象となる方
   以下に該当する患者様
   2025 年 8 月 1 日～2026 年 6 月 30 日までの期間に,当院リハビリテーション科の通常診療において,椅子座位および 60 度ギャッチアップ位(ベッドを 60 度ほど起こした姿勢)の両条件で最大咳嗽流量(CPF)の測定が実施された 65 歳以上の入院患者様
2. 研究課題
   入院患者における椅子座位と 60 度ギャッチアップ位で測定した最大咳嗽流量の個人内差の推定
3. 研究施設
   山口県立総合医療センター
4. 研究方法, 目的, 意義
   本研究はすでに記録されている診察録(カルテデータ)を使用して行う後方視的(後ろ向き)観察研究です.当院に入院中の患者様において,椅子座位と 60 度ギャッチアップ位(ベッドを 60 度ほど起こした姿勢)という 2 つの姿勢条件で測定された CPF 値がどの程度異なるかを明らかにします.姿勢の違いによる CPF の個人内差を把握することで,ベッドサイドでの CPF 測定における適切な体位設定の考え方や,測定値の解釈に役立てることができます.本研究結果は,入院高齢患者における測定の標準化に貢献するとともに,誤嚥性肺炎の予防や排痰管理の向上にも寄与することが期待されます.
5. 協力をお願いする内容
   診察録(カルテデータ)等から,以下の項目を抽出して調査致します.
   ・患者様の背景因子:年齢,性別,体格指数(BMI),喫煙歴(Brinkman Index),併存疾患指数(CCI),片麻痺の有無,血液検査値(Alb,CRP)
   ・身体機能・認知機能等:日常生活動作(FIM),認知機能(MMSE-J),嚥下機能(FOIS レベル),握力,最大発声持続時間(MPT),胸郭拡張差,呼吸筋力(MIP,MEP)
   ・排痰に関する情報:自己排痰能力の分類(自立,または困難・努力性)

・測定データ:細菌フィルター装着下での最大咳嗽流量(CPF)値(椅子座位,および 60 度ギャッチアップ位(ベッドを 60 度ほど起こした姿勢)での値)

6. 研究実施期間
院長許可日～2028 年 6 月 1 日までにデータを解析致します.

7. 研究成果の公表
この研究結果を関連する学術集会(学会発表)や医学系学術雑誌への論文投稿にて公表する予定です.

8. プライバシーの保護について
個人情報の保護に関する法律に従い,個人情報の取り扱いには十分に配慮いたします.研究対象者の情報は,電子カルテ上の診察情報や既存データから必要な情報を収集し,氏名やカルテ番号など個人が特定できる情報を削除して識別符号を割り付け,患者様のプライバシーは漏洩しないように厳重に留意致します.研究成果を発表する際にも,個人が特定できる情報は一切使用しません.

9. 研究協力の任意性
この研究は既存のデータのみを用いるため,患者様に新たな検査や負担をお願いするものではありません.しかし,本研究へのご自身のデータの使用を望まれない患者様(またはそのご家族・代諾者様)は,その旨を下記連絡先までお伝え願いたいと存じます.お申し出があった場合は,直ちにデータを研究から除外・破棄いたします.また,本研究へのご協力を望まれない場合でも,今後の診療において不利益が生じることは一切ございません.

10. お問い合わせ
この研究について,何かお聞きになりたいこと,心配なことがありましたら,いつでも遠慮なく研究責任者をお尋ねください.
ご希望があれば,他の研究対象者の個人情報保護や当該研究の独創性の確保に支障がない範囲で,研究計画及び研究方法に関する資料を閲覧することができます.

【研究責任者】
研究参加にご同意いただけない患者様及び関係者の皆様からの相談等への対応窓口は以下の通りです.
〒747-8511 山口県防府市大字大崎 10077 山口県立総合医療センター
研究責任者:秋枝 克昌 (リハビリテーション部 言語聴覚士)
連絡先:0835-22-4411 代表番号 (山口県立総合医療センター)